令和6年度 渋川小学校 学校だより　　令和6年10月2日

かしの木

第10号

とても素敵な教養講座でした

９月２７日（金）にPTA 主催の教養講座が実施されました。

以前渋川小学校に勤務された 山﨑純子先生を講師としてお招きし、「わらべ歌で育つ子ども達」を演題に講演いただきました。

純子先生が参加者一人一人に準備してくださったバンダナや手作りのお手玉を使って、一緒に歌ったり、遊んだり…と楽しいひとときを過ごすことができました。

純子先生のお人柄もあり、とても温かい雰囲気の中、あっという間の７５分間。

「ゲーム」や「スマホ」、動画…といった多くのメディアが当たり前の現代において、昔から大事にされてきた「わらべ歌」や「手遊び歌」といったものはとても新鮮で柔らかく、もっともっと見直され、大事にされなければならないのではないかと考えさせられました。

「わらべ歌」は、特に準備もなく、その場で一緒に楽しめるのが大きな魅力。そして、いろいろなバリエーションを加えることも可能です。

また、純子先生は渋川豊年太鼓の第１回の立ち上げ、設立に尽力された先生でもあります。

豊年太鼓は、現５年生が第２９回生となるそうです。来年度は３０回生という節目の年。渋川の伝統として根付いていることに、感慨もひとしおのようでした。

作文コンクール、感想文コンクールがんばりました

先日行われた地区の作文コンクールでは、４名が入選、特選となりました。

【安達地区児童作文コンクール】

２年生　小林　　蓮さん　「じいちゃん、おふろに入ろう」 特選（県へ）

【安達地区児童作文コンクール(感想文の部)】

３年生　渡邊　　旭さん　「ゆめでもいい」を読んで　　入選

５年生　古川　凛空さん　「命の責任」　　入選

６年生　菱沼　夕竜さん　「幸せにできるうそ」　　入選

〈渋川コミュニティ・スクール〉 －立哨指導、授業参観－

秋の交通安全運動（９月２１日～９月３０日）に合わせて、地域の方々に立哨指導をしていただきました。連日、どんよりとした空模様で、時折、パラパラと雨が降る中での登校。子ども達の安全面を考えるととてもありがたく感じました。

日頃から「命を守る」ことについて指導をしています。「命を守ってもらっていること」で「命を守ること」につながっていることを改めて考えさせるとともに、感謝の気持ちを忘れないよう、今後も指導を進めていきたいと思います。

９月２７日（金）の授業参観では大変お世話になりました。

祖父母参観の時もそうでしたが、お父さん、お母さんが学校に来てくれること、そして、頑張る姿を見てもらえることは子ども達にとって大きな励みになると感じています。

参観の中では、保護者のみなさんに参加いただいた授業もあったようです。そうした授業も子ども達にとっては嬉しいようです。（ご協力いただきましてありがとうございました）

こうした日頃の学習の成果を１０月２６日（土）の学習発表会でまた見ていただけるように学習活動の充実をさらに図っていきたいと思います。

２，３年生の校外学習において、６名の保護者の方に引率のご協力をいただきました。また、４年生の体育科のボール運動の指導においては、服部克洋様に計６回の指導をいただきました。

いつも多くの皆様のご協力をいただいております。感謝申し上げます。

校長の独り言

「校長先生にこれ預かってもらおうよ」「そうだね。みんなで見つけたすごく大事な物だから、なくなると困るもんね」「校長先生に大事に取っておいてもらおう」「そうだね。無くしたり、忘れちゃったりしたら大変だもんね」

コソコソ話にならない秘密の会議を１年生の子ども達がみんなで輪になってしています。

ある日の休み時間、中庭に飛び出してカナチョロ捜索をしていたちびっ子探検隊。

カナチョロ探しの途中で、カナチョロ以上の驚きの発見をしてしまったようです。

それは…。　小さな刀のような物でした。

「これはすごい物を見つけた！」と１年生は大興奮！　恭しくそれらを見て話をしていました。

そして全員の総意のもと、「校長先生！すごい物を見つけました。大事な物なので預かっていてください。そして、忘れないように、なくさないようにしてください」という流れになったようです。

「ははー」と深々と頭を下げ、預かりの儀を行わせていただきました。

すると子ども達。預けるや否や「カナチョロ探しに行こう！」

むむっ、なんという変わり身の早さ！そして夢中になってカナチョロ探しをする子ども達。キーンコーンカーンコーン。チャイムが鳴ると一目散に私の傍を通り過ぎ、教室に戻って行った子ども達。「ん？大事な宝物だったはずじゃ…」　忘れないようにだいぶ念を押されたけど、君たち、まさか刀を預けたこと忘れないよね…。あれから数週間、子ども達からの指令はまだない…。